

【別紙2】

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】 学校名 静岡市立宮竹小学校

1 実践 テーマ	【 III 】
2 実施 対象者	6年生 92名
3 展開 の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ね らい)	スポーツ選手との交流を通し、夢と希望をもち自らの未来を切り拓く生き方やインクルーシブな社会について考える。
5 取 組内容	<p>1.事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの意義について、国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を使用し学んだ。 ・英語教材「We Can2」Unit6の学習を行いオリンピック・パラリンピックの競技について関心を高めておいた。 ・事前アンケートを行った <p>2.当日の流れ</p> <p><事前準備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの間に市役所スポーツ交流課の職員が来校し、体育館にボッチャのコート8面作ってくださった。 ・スクリーン、マイクを準備した。 <p>①選手の方から話を聞こう</p> <p>スポーツを始めたきっかけや試合に際して心掛けていること、子どもたちへのメッセージを話していただいた。</p>

②ポッチャについて知ろう

ポッチャの指導者の方が、映像を通して競技について分かりやすく説明して下さった。また、使用する用具も実際触らせていただいた。



③ポッチャを体験しよう

コート8面を使い、実際にポッチャのゲームを体験した。ゲームを何回かするうちに児童がルールを理解し、作戦をたてたり、投げ方を工夫したりし始め、より競技の魅力を感じることができた。



③感想・お礼

・体験しての感想を数名の児童が話した。

3. 事後指導

- ・ワークシートに感想を書いた。
- ・事後アンケートを行った
- ・社会「戦後の日本」の学習でオリンピックの歴史・開催意義について改めて確認した。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の選手から、「障害があっても壁をつくりたくない」「緊張する場面では、自分を励ます言葉を作っておくとよい」という言葉をいただき、自分の考え方の参考にしようとする児童が多くいた。 ・実際にボッチャという競技を体験したことで、障害のあるなし関係なく、大人も子供も楽しめる競技の良さを実感した児童が大変多かった。 ・コートを8面とり、児童全員が体験できたことで、よりボッチャの魅力が実感できた。また、体験時間を時間いっぱいとしたことで、チームで作戦をたてたり、投げ方を工夫したり、より競技の本質を楽しむことができた。 ・パラリンピックについて関心が薄かったこと児童が、ボッチャだけでなくほかのパラリンピック競技についても関心をもつようになった。 ・競技だけでなく、オリンピックやパラリンピックのボランティアについても関心をよせ、自分もお手伝いをしてみたいと考える児童が増えた。
<p>7実践において工夫した点 事業の特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教材の内容にオリンピック・パラリンピックに関することがあったため、この事業に近い時期に学習できるよう、配置を変更した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピックへの内容は6年生の社会や英語にでてくるため、児童への興味付けはやりやすかったが、他学年が対象となったとき、どの学習でこの事業を取り入れるのが難しい。 ・事前に予備知識をいれておくと、より充実した学びになるが、それを行う時間を生み出すのが難しいと感じた。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は6年生が対象であったため、来年度への継続・発展は考えていないが、31年度実施するのであれば2020年に向けて「I'm POSSIBLE」を利用して計画的に授業をおこなっていくのが良いと考える。